

# 競 技 注 意 事 項

## 1 競技規則について

本競技会は、2018年度(財)日本陸上競技連盟競技規則により行う。

## 2 練習について

(1) 練習は第二陸上競技場において競技役員の指示する場所と時間帯で行う。(放送で場所を指示する。)

(2) 跳躍種目は、競技役員の指示により主競技場で練習を行う。

## 3 招集について

(1) 招集場は第二陸上競技場倉庫内に設ける。

(2) 招集開始時刻と完了時刻は、当該種目の開始時刻を基準に、次の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	25分前	20分前
フィールド	40分前	30分前

※棒高跳びは競技開始1時間前に現地集合とする。

### (3) 招集の手順

- ① 競技者は、招集開始時刻に、招集場に掲示してある出場競技者一覧表に、本人または代理人がチェック(すべてのチェック用紙の自分のナンバーを○でかこむ)をする。
  - ② 競技者は招集完了時刻には招集場で待機し、最終点呼を受ける。その際、競技係にナンバーおよび競技用靴シューズ、衣類等の商標確認を受ける。
  - ③ 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目以上を兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が競技者係に申し出ておくこと。
- (4) リレーに出場するチームは、そのラウンドの招集開始時刻60分前までに、オーダーを記入して、競技者係に2部提出すること。(オーダー用紙はプログラムと同時に配布するので、記入の後提出すること。)
- (5) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。
- (6) 競技場へは係員の誘導または指示により入場する。

## 4 競技について

(1) 短距離走では、安全のためフィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーンを走ること。

(2) トラック競技でセパレートレーンを使用する場合は、欠場者のレーンはそのまま空けて行う。出場競技者が8名までのときは、第1レーンを空けて競技を行う。

(3) セパレートレーンで行うリレーの競技者は、ダッシュマークとして自分のレーンにチョーク等の類似品によらず、粘着テープによって目印をつけてもかまわない。その目印は自チームの競技者が必ず取り除くこと。

(4) 棒高跳・走幅跳・三段跳では、主使用者が提供したマーカーを助走路外に置くことがで

きる。走高跳・やり投では、助走や跳躍の際、主催者が承認したマーカーを置くことができる。

(5) 走高跳・棒高跳を除くフィールド競技の試技は、原則として3回の試技で行う。  
(競技参加人数により審判長の判断で決勝を含む6回の試技に変更することがある)

(6) 男女の100mについては、予選タイム上位8名で決勝を行う。(掲示して連絡をする。)

(7) リレー競技について

- ・本記録会にかぎり、ユニフォーム統一の規定は採用しない。但し、同一校が同じ組の場合並びにユニフォームの統一が出来ていないチームは、全走者の左右の腰に、レーンと同じ番号の腰ゼッケンをつけなければならない。

(8) 投擲種目はすべて第二競技場で行う。

#### 5 競技用具について

競技用具は主催者が用意したものを使用すること。

#### 6 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

( )内の高さを練習の高さとするが、選手・天候等の条件により審判員の判断で変更する場合がある。

男子	走高跳	(1.55) 1.60-1.65-1.70-1.75-1.80-1.83-1.86-1.89--
	棒高跳	(2.50) 2.60-2.80-3.00-3.20-3.40-3.60-3.80-4.00-4.10-- (3.50) 3.60-3.80--
女子	走高跳	(1.25) 1.30-1.35-1.40-1.45-1.50-1.53-1.56-1.59-1.62--

#### 7 その他

(1) 競技場は常に清潔保持につとめ、出したごみ等は自チームまたは個人の責任において持ち帰ること。自販機で購入した飲み物の空き缶等についても同様とする。

(2) 荷物等は自チームまたは個人が責任をもって管理し、盗難には十分注意すること。

(3) プログラムは、一冊につき500円で販売する。

(4) 本日の清掃分担・用具分担は、補助員分担表の欄を参照し確実にを行うこと。

### 清掃分担

城南高校・徳島市立高校

※ ゴミ袋は第一会議室へ取りに来てください。